

9-3 都市及び地方計画【選択科目Ⅱ】

Ⅱ 次の2問題（Ⅱ-1，Ⅱ-2）について解答せよ。（問題ごとに答案用紙を替えること。）

Ⅱ-1 次の4設問（Ⅱ-1-1～Ⅱ-1-4）のうち1設問を選び解答せよ。（緑色の答案用紙に解答設問番号を明記し，答案用紙1枚にまとめよ。）

Ⅱ-1-1 第二次国土形成計画（全国計画）が国土の基本構想として示す「対流促進型国土の形成」について、「対流」の概念にふれて説明せよ。また，国土の基本構想の実現に，リニア中央新幹線によるスーパー・メガリージョンの形成が，どのように資することが期待されるかを述べよ。

Ⅱ-1-2 立体都市計画制度について，概要，意義，制度を活用する際の留意点を説明せよ。さらに，立体都市計画制度を適用して都市計画道路と建築物を上下で一体的に整備するに当たり，立体都市計画制度だけでは整備できない理由と定めることが必要な事項について，都市計画法，道路法，建築基準法にふれて説明せよ。

Ⅱ-1-3 「空家等対策の推進に関する特別措置法」の概要について，同法に基づく①空き家対策推進のための枠組み，②空き家所有者特定のための制度，③周辺環境に悪影響を及ぼす空き家を改善するための措置，の3点に関する具体的内容とその効果にふれて説明せよ。

Ⅱ-1-4 「高齢者，障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー法）」に基づく都市公園の移動等円滑化の考え方を，特定公園施設及び移動等円滑化園路にふれて説明せよ。

Ⅱ－２ 次の２設問（Ⅱ－２－１，Ⅱ－２－２）のうち１設問を選び解答せよ。（青色の答案用紙に解答設問番号を明記し，答案用紙２枚を用いてまとめよ。）

Ⅱ－２－１ 豪雨により大規模な浸水や土砂災害の被害を受けた地方公共団体において，防災の強化のために，過去に策定した立地適正化計画における居住誘導区域を見直すこととなった。本業務の担当責任者として，下記の内容について記述せよ。

- （１）居住誘導区域の見直し案（都市計画審議会から意見聴取する段階の案をいう）を作成するために，調査，検討すべき事項とその内容について説明せよ。
- （２）留意すべき点，工夫を要する点を含めて業務を進める手順について述べよ。
- （３）業務を効率的，効果的に進めるための関係者との調整方策について述べよ。

Ⅱ－２－２ 戸建て住宅が立ち並ぶ住宅地において，住民が主体となって住環境保全のための地区計画の導入に向けた合意形成に取り組もうとしている地区がある。この地区において，地方公共団体に提案する地区計画の素案の取りまとめと合意形成に向けた住民活動の支援を行うため，当該地方公共団体からまちづくりコーディネーターが派遣されることとなった。あなたがこのまちづくりコーディネーターを担うとして，下記の内容について記述せよ。

- （１）調査，検討すべき事項とその内容について説明せよ。
- （２）留意すべき点，工夫を要する点を含めて業務を進める手順について述べよ。
- （３）業務を効率的，効果的に進めるための関係者との調整方策について述べよ。

9-3 都市及び地方計画【選択科目Ⅲ】

Ⅲ 次の2問題（Ⅲ-1、Ⅲ-2）のうち1問題を選び解答せよ。（赤色の答案用紙に解答問題番号を明記し、答案用紙3枚を用いてまとめよ。）

Ⅲ-1 近年、社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において、自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある国土・都市・地域づくりを進める取組である「グリーンインフラ」が求められている。

グリーンインフラは、様々な状況に応じた統合的解決にアプローチする手法として有効であり、まちづくりの様々な場面で活用することが想定される。

- (1) 上記のグリーンインフラを活用しうる場面を挙げて、まちづくりを行う際の課題を技術者としての立場で多面的な観点から抽出し、その内容を観点とともに示せ。
- (2) 前問(1)で抽出した課題のうち最も重要と考える課題を1つ挙げ、その課題に対するグリーンインフラによる解決策を複数示せ。
- (3) 前問(2)で示したすべての解決策を実行した上で生じる波及効果と専門技術を踏まえた懸念事項への対応策を示せ。

Ⅲ-2 少子高齢化の進展などによる財政的制約から、都市基盤施設の整備に必要な予算を十分確保することが困難となっている地方都市の中心市街地で、居住人口の減少などに伴い、空閑地や空き家が発生している。

当該中心市街地の魅力を高めるため、地区内の土地所有者や中小の商店の経営者などにより構成されるコミュニティ組織が当該地方公共団体と連携しながら、空閑地などを活用して広場や歩行空間を短期間に整備し、管理運営する事業を進めることとした。

この事業を進めるにあたって、以下の問いに答えよ。

- (1) 上記のような地区で土地所有者等により構成されるコミュニティ組織が広場や歩行空間を整備、管理運営する事業について、技術者としての立場で多面的な観点から課題を抽出し、その内容を観点とともに示せ。
- (2) 抽出した課題のうち最も重要と考える課題を1つ挙げ、その課題に対する複数の解決策を示せ。
- (3) 解決策に共通して新たに生じうるリスクとそれへの対策について、専門技術を踏まえた考えを示せ。